

# 根室地域における低コスト作業等の普及定着

根釧東部森林管理署

## 【現状・課題・目的】

当署管内は漁業と酪農を中心とする地域であり、防風林をはじめとする森林は地域から**基幹産業を支える重要な基盤**として認識され、その公益的機能発揮への期待は大きい。

しかし、産業としての林業への関心は高いとは言えない。

このような背景の中、**地域林業の推進**のため市町の林務担当者を中心に国有林で行われている作業を紹介してほしいとの要望があったことから、当署で行っている作業とその技術の紹介等を行い、当地域における**伐採・造林の低コスト作業等の普及・定着を促進**する。



## 【平成30年度の取組結果】

### ① 現地検討会の開催(10月24日実施)

根室振興局、森林室、市町の林務担当職員及び林業事業者から**26名**の参加を頂き、当署管内で実施した**一貫作業現場**において、大型機械による地拵とコンテナ苗の植栽について紹介した。この中で、施業の技術に関する理解を深め、**低コスト施業の実施に当たっての課題**などについて参加者と**意見交換**を行い**情報共有**した。



### ② UAVの活用に係る勉強会の開催

上記の現地検討会において、当署職員及び現地検討会の参加者に対して、UAV(=ドローン)の機能説明及び熟練職員による**デモンストレーション**を行い、森林管理等へのドローンの活用可能性について意見交換を行った。

また、当署で保有しているドローンについて要請があれば当署職員が民有林において**災害時の状況把握**のための撮影などを行うなどの支援もできる旨、併せて周知した。

参加者からは、**今後の林況等の把握に活用を検討**するとの意見もあった。



## 【今年度の取り組みで目指すところ】

昨年度から当署管内で実施している一貫作業システム及びコンテナ苗の植付け現場において現地検討会を引き続き開催し、これらの作業手法の紹介と収集したデータの提供を行い市町の林務担当者等と意見交換を行うことにより、**当地域での普及**を目指す。

ドローン等の活用に係る勉強会を通じて、これらを活用した効果的な**森林被害把握**や**森林調査方法**への**普及**を図る。

## 【今後の目標】

**地域に適した伐採・造林の低コスト作業等の普及・定着**